

《新条項》

別表(1)

教育課程及び授業日時数

インテリア・空間デザイン科

課程		専 門 課 程			単 位 表 示		
学 科		インテリア・空間デザイン科					
科 目		第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年
一般科目	1 コミュニケーション活動Ⅰ	60			2		
	2 コミュニケーション活動Ⅱ		60			2	
	3 コミュニケーション活動Ⅲ			60			2
専門科目	4 建築設計製図Ⅰ	60			2		
	5 建築設計製図Ⅱ		60			2	
	6 建築設計製図Ⅲ			60			2
	7 建築設計画Ⅰ		60			2	
	8 建築設計画Ⅱ			60			2
	9 建築環境工学Ⅰ	60			2		
	10 建築環境工学Ⅱ		30			1	
	11 建築環境工学Ⅲ			30			1
	12 建築設計設備学		30			1	
	13 構造力学学		30			1	
	14 建築一般構造Ⅰ	30			1		
	15 建築一般構造Ⅱ		30			1	
	16 建築材料学	60			2		
	17 建築生産学			30			1
	18 建築法規		30				1
	19 インテリアコーディネートⅠ	60			2		
	20 インテリアコーディネートⅡ		60			2	
	21 家具デザイン	30			1		
	22 パース技法Ⅰ	60			2		
	23 パース技法Ⅱ		30			1	
	24 デザインCADⅠ	60			2		
	25 デザインCADⅡ		60			2	
	26 空間デザイン基礎	60			2		
	27 巨匠デザイン学	30			1		
	28 色彩学	60			2		
	29 デザインアプリケーションⅠ	120			4		
	30 デザインアプリケーションⅡ		30			1	
	31 デジタルアプリケーション			30			1
	32 デッサン	60			2		
	33 平面構成	60			2		
	34 プランニング技法		30			1	
	35 照明設計Ⅰ		30			1	
	36 照明設計Ⅱ			30			1
	37 インテリアモデル		30			1	
38 インテリアデザイン		60			2		
39 店舗デザイン概論		30			1		
40 空間コーディネート実践		30			1		
41 エクステリアプランニング		30			1		
42 ポートフォリオ制作Ⅰ		30			1		
43 ポートフォリオ制作Ⅱ			30			1	
44 マーケティングⅠ		30			1		
45 マーケティングⅡ			30			1	
46 ライフスタイル研究			30			1	
47 店舗設計			60			2	
48 外部空間デザイン			60			2	
特別科目	49 キャリアプランⅠ	30			1		
	50 キャリアプランⅡ		30			1	
	51 卒業業研究			360			12
	52 産学連携プロジェクトⅠ	30			1		
	53 産学連携プロジェクトⅡ		60			2	
	54 産学連携プロジェクトⅢ			60			2
共通選択科目		30	60	30	1	2	1
単 位 合 計					32	32	32
年 間 履 修 時 間 数		960	960	960			
年 間 授 業 日 数		180	180	180			

注) 共通選択科目は1年次30時間以上、2年次60時間以上、3年次30時間以上履修しなければならない

注) 共通選択科目教育課程は別紙参照

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		科目コード
授業科目名		授業形態	学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅲ		演習科目	インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	岩崎 京子
授業の目的・目標					
様々な活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でのコミュニケーションを図る。					
授業の概要					
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。デザインを学ぶ学生の基本姿勢として、自分の足で情報を収集し、得た情報を分析し自分自身のアイデアに反映する等のデザイン訓練を行う。静岡県内に限らず、各地で開催される展示会やイベントを視察する。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度・出席率） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
必要に応じてテキストやパンフレットを配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	始業式	2	16.	学科活動	2
2.	終業式	2	17.	学科活動	2
3.	球技大会	2	18.	卒業制作展視察	2
4.	他、学校行事	2	19.	卒業制作展視察	2
5.	東京研修	2	20.	卒業制作展視察	2
6.	東京研修	2	21.	卒業制作展視察	2
7.	東京研修	2	22.	卒業制作展視察	2
8.	東京研修	2	23.	卒業制作展視察	2
9.	東京研修	2	24.	卒業制作展視察	2
10.	東京研修	2	25.	卒業制作展視察	2
11.	東京研修	2	26.		2
12.	東京研修	2	27.		2
13.	学科活動	2	28.		2
14.	学科活動	2	29.		2
15.	学科活動	2	30.		2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築設計製図ⅢA			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	2	澤本 幸伸	
<b>授業の目的・目標</b>						
2級建築士製図試験対策として、手書き製図を時間内に完成させるための方法を習得する。						
<b>授業の概要</b>						
2級建築士製図試験問題を演習。まず設計課題(問題文)を読み取る力からゾーニング、プランニング(エスキス)の進め方。時間内に書き上げる手書きでの作図方法。						
<b>成績評価の方法</b>						
課題内容、提出、課題に取り組む姿勢の総合評価。					学習意欲	50%
					課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>						
配布プリント						
<b>授業内容・授業計画</b>						
						時間数
1. 設計課題(問題文)を読み取り設計条件や法規、構造を理解する。						4
2. 設計課題(問題文)でのゾーニング、プランニング(エスキス)の進め方。						4
3. 設計課題(問題文)でのゾーニング、プランニング(エスキス)演習。課題提出						10
4. 設計課題(問題文)での要求図書の作図。(配置、各階平面、立面、矩計図)課題提出						12
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築設計製図ⅢB			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	2	小沼 勝也	
<b>授業の目的・目標</b>						
建築設計図面の構成と各図面の内容を理解し製図方法を学ぶ						
<b>授業の概要</b>						
1つのプロジェクトの設計図面の構成についてと夫々の図面の役割を学び卒製の図面に反映させる						
<b>成績評価の方法</b>						
課題（今までに製図実習をやらなかった図面）各図面ごとに提出、取り組む姿勢の総合評価。					学習意欲	20%
					課題	80%
<b>使用テキスト・教材</b>						
配布プリント・製図用具一式・製図用紙はその都度配布（普通紙A3）						
<b>授業内容・授業計画</b>						
						時間数
1. 木造基礎図面						2
2. "						2
3. 伏せ図(床・天井)						2
4. "						2
5. 展開図						2
6. "						2
7. "						2
8. "						2
9. 平面部分詳細図						2
10. 断面部分詳細図						2
11. 仕上げ表・建具表						2
12. その他（外構工事等）						2
13. 卒制図面指導						2
14. "						2
15. "						2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態	学科・コース		
建築計画Ⅱ		講義・演習	インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	小杉 陽子
<b>授業の目的・目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>条件を読み取る力、プランニングに必要とされる技術を身につける。</li> <li>自分の制作した作品に自信を持ち、クライアントを納得させるプレゼン方法を知る。</li> <li>提出期限を厳守するための自身のスケジュール管理を身につける。</li> </ul>					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の条件を読み解き、条件に合った中で自分のアイデアを具現化し、他者に考えを伝える方法を学ぶ。</li> <li>完成までの過程を自身で管理し、提出期限を厳守する。</li> <li>図面、パースを作製し、A2サイズのプレゼンボードにレイアウトした完成作品をデータにて提出。</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
1. 出席状況				作品評価	70%
2. 授業態度(意欲的か、課題完成までのスケジューリングができているか)				授業態度	20%
3. 課題の完成度(アイデア・想像力、コンセプト・着目点、製図の出来栄)の上、課題を締切厳守で提出した上で総合的に評価する。課題未提出は成績評価は行わない。				出席状況	10%
<b>使用テキスト・教材</b>					
建設予定地の敷地図、各種条件等を、2級建築士製図試験の問題用紙形式にて出題。					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	出題内容の理解	2	16.	〃	2
2.	全体の考察	2	17.	〃	2
3.	基本プランの作製	2	18.	〃	2
4.	〃	2	19.	〃	2
5.	〃	2	20.	〃	2
6.	〃	2	21.	3Dパース作製 (CADでも手書でも可)	2
7.	平面図の作製開始	2	22.	〃 □	2
8.	〃	2	23.	〃 □	2
9.	〃	2	24.	〃 □	2
10.	〃	2	25.	〃 □	2
11.	〃	2	26.	〃 □	2
12.	〃	2	27.	〃 □	2
13.	断面図・立面図作製開始	2	28.	〃 □	2
14.	平面図との関係性の調整	2	29.	完成のプレゼンボード使って、	2
15.	〃	2	30.	各自の発表を行う	2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
建築環境工学Ⅲ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	伊達 剛	
<b>授業の目的・目標</b>						
単なる意匠設計に留まらず、人間の生理・心理に配慮した「快適さ」を数値や仕様で裏付ける実学的なアプローチを習得し、感性による「素敵な空間」を、工学による「快適な空間」へと昇華させることを目的とする。学生は、演習を通して、環境工学に関する基礎的な事項と技術を習得し、それを表現できる。						
<b>授業の概要</b>						
これまでに習得した環境工学（光、音、風、熱、色）の理論を、実際の空間設計に統合・応用する能力を養う。講義だけでなく、ペアワークによるヒアリングから設計、具体的な仕様の決定、プレゼンボードの作成までの演習を行い、工学的根拠に基づいた空間提案能力を習得する。						
<b>成績評価の方法</b>						
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらを総合的に評価したうえで決定する。 ただし課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。			作品評価	70%		
			授業態度	20%		
			出席状況	10%		
<b>使用テキスト・教材</b>						
必要に応じてプリント配布						
<b>授業内容・授業計画</b>						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション・熱環境の設計		2	16.		2
2.	光・色彩の設計		2	17.		2
3.	音・換気の設計		2	18.		2
4.	環境シミュレーション手法		2	19.		2
5.	建築仕様と材料の選定		2	20.		2
6.	環境工学の基礎知識確認		2	21.		2
7.	敷地提案とリサーチ		2	22.		2
8.	ヒアリング演習		2	23.		2
9.	エスキスⅠ：空間プログラミング		2	24.		2
10.	エスキスⅡ：環境性能の検討		2	25.		2
11.	エスキスⅢ：ディテールへの落とし込み		2	26.		2
12.	エスキスⅣ：ダイアグラム		2	27.		2
13.	プレゼン制作		2	28.		2
14.	最終講評会①		2	29.		2
15.	最終講評会②		2	30.		2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
建築生産			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	小沼 勝也
授業の目的・目標					
建築施工の各段階と構造別施工の要点と建築材料や既成部材の生産についての知識を身に着ける					
授業の概要					
地業・基礎工事から始まり竣工までの施工についてと様々な建築材料や既成品・既成部品の生産方法等についての説明					
成績評価の方法					
数回の小テストと授業の取り組み姿勢で評価				テスト	50%
				授業態度	30%
				出席状況	20%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 仮設工事に関する機械や材料			2		
2. 地業・基礎工事に関する機械や材料			2		
3. 木工事に関する機械や材料			2		
4. 鉄筋コンクリートに関する機械や材料			2		
5. 鉄骨工事に関する機械や材料			2		
6. 組積工事に関する機械や材料			2		
7. 外部仕上げ工事に関する機械や材料			2		
8. 内部仕上げ工事に関する機械や材料			2		
9. 開口部に関する機械や材料			2		
10. システムキッチン等の台所製品			2		
11. ユニットバス			2		
12. 電気工事・照明器具等			2		
13. 給排水衛生ガス設備工事			2		
14. エレベーター等			2		
15. 外構工事			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2026年度	
				科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態	学 科 ・ コー ス		
デジタルアプリケーション			講義・演習	インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	岩崎 京子	
授業の目的・目標						
卒業制作展に向けたプレゼンボードにレイアウトするテキストデータをまとめる。作品の意図を相手に伝えるための魅力的な文章を考える。プレゼンボードにレイアウトする3Dデータの作成。						
授業の概要						
魅力的なプレゼンボードにするために、レイアウトする素材の作成。						
成績評価の方法						
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価					学習意欲	50%
					課 題	50%
使用テキスト・教材						
特になし						
授業内容・授業計画						
1. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成						時間数
2. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成						4
3. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成						
4. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの作成						
5. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正						
6. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正						
7. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正						
8. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正						
9. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正						24
10. 卒業制作のプレゼンボードに入れるテキストデータの添削・修正						
11. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成						
12. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成						
13. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成						
14. 卒業制作のプレゼンボードに入れる3Dパースデータ作成						
15. プレゼンボード出力データチェック						2
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。				ポートフォリオ制作 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
照明設計Ⅱ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	ふじた ともこ
授業の目的・目標					
商業施設、ランドスケープ、街の照明提案をできるようになる					
授業の概要					
商業施設、街の計画に関する照明設計を検証していく					
成績評価の方法					
課題と学習意欲から評価				出席	15%
				学習意欲	35%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 現在の光環境について			2		
2. 空間設計時の光の考え方			2		
3. 商業施設の照明設計			2		
4. 商業施設の照明設計			2		
5. 商業施設の光環境の研究			2		
6. 商業施設の光環境の研究			2		
7. 商業施設の照明考察			2		
8. 街の照明環境			2		
9. 街の照明環境			2		
10. 街の照明環境			2		
11. 照明デザイン実践			2		
12. 照明デザイン実践			2		
13. 照明デザイン実践			2		
14. 照明デザイン実践			2		
15. 今後の照明デザインについて			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2026年度
				科目コード	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ポートフォリオ制作Ⅱ		講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
2年次に制作したポートフォリオをさらにクオリティアップさせ、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの最終完成を目指す。					
授業の概要					
進路を意識したポートフォリオとしての、更なるブラッシュアップ。					
成績評価の方法					
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価				学習意欲	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
特になし					
授業内容・授業計画					
1. 2年次に制作したポートフォリオのチェック～修正ポイント抽出 2. 3. 4. 5. 各自必要とするポイントを修正していく 6. 7. ・各作品のコンセプト強化 ・制作工程の説明方法など再度見直し 8. ・作品の魅力をより引き出す撮影 9. ・図面の精度向上 ・ラフスケッチなどの追加 10. 11. →よりコミュニケーションがとれるポートフォリオへ進化させる ・最終チェック 12. 13. 14. 15. 講評会					時間数 4    24  2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ポートフォリオ制作Ⅰ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
マーケティングⅡ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	川松 夕見子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会動向や市場環境の変化を理解し、消費者ニーズを作品やデザインに落とし込めること。</li> <li>・卒業制作の企画を、背景や根拠となる情報をベースに、独自性のあるコンセプトとして組み立てること。</li> </ul>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングの基本概念に基づいて、卒業制作のリサーチと裏付け情報の収集を行う。</li> <li>・卒業制作企画について、マーケティングの分析ツールを活用しながら整理／構成し、その目的や効果を伝わりやすいプレゼンテーションにまとめる。</li> </ul>						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート提出</li> <li>・卒業研究中間プレゼンテーション</li> </ul>					課題	60%
					平常点	20%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドデータまたはプリント配布</li> </ul>						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 授業概要説明、ウォーミングアップ演習						2
2. 卒業制作テーマの整理						4
3. 情報収集とマーケティングリサーチ計画						4
4. マーケティングリサーチ実施						4
5. 裏づけ材料まとめとコンセプトワーク						4
6. コンセプト検証と具体案の方向性確認						4
7. 卒業制作中間プレゼンのシナリオ構成						4
8. 卒業制作中間プレゼンのスライド作成とブラッシュアップ						4
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			プレゼンテーション			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ライフスタイル研究			講義・演習		プロダクトデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	本野 智美	
<b>授業の目的・目標</b>						
ユニバーサルという視点で世の中を見ることで、誰が何を必要としているのかを考える。また、これからの社会にはどんなデザインや仕組み、概念が必要であるのか、それを実現させるにはどうしたら良いのかを研究するプロセスを学ぶ。						
<b>授業の概要</b>						
1)SDGsとは～SDGsグループワーク～発表 2)ユニバーサルデザインとは～多様性グループワーク～発表 3)ユニバーサルデザイン具体例～疑似体験グループワーク～発表 4)デザインの視点 5)レポート課題～提出						
<b>成績評価の方法</b>						
1. 学習意欲／取り組みの姿勢と真剣度 2. グループワーク／目的に向けた研究力、実行力 3. レポート提出／提出期限の厳守と観察力、洞察力を評価対象とする					学習意欲	20%
					グループワーク	20%
					レポート提出	60%
<b>使用テキスト・教材</b>						
オリジナル資料・その他必要に応じてプリント配布						
<b>授業内容・授業計画</b>						
			時間数			時間数
1. 講義：SDGsとは			4			
2. →SDGsグループワーク～発表						
3. 講義：ユニバーサルデザインとは			6			
4. ”						
5. ”						
6. →多様性グループワーク～発表			2			
7. 講義：ユニバーサルデザイン具体例			4			
8. ”						
9. →疑似体験グループワーク			6			
10. ”						
11. ”						
12. →疑似体験グループワーク～発表			2			
13. 講義：デザインの視点			4			
14. ”						
15. 課題：レポート作成～提出			2			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※单元ごと模擬問題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
店舗設計			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	長尾 隆行
授業の目的・目標					
実践的な店舗設計が行えるよう、職業感覚、空間感覚を身につける。					
授業の概要					
実践的な店舗設計（物販、飲食）が行えるよう、実店舗の仕事内容、スタッフ動線、お客動線の把握。保健所の営業許可申請を意識した厨房内の設計、仕上げの決定など、具体的な内容の把握。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらを総合的に評価したうえで決定する。				出席	50%
				学習意欲	30%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 皆、私の自己紹介(二年目なんでより詳細に)			4		
2. 生徒のお気に入りのお店見学			4		
3. リノベーション事例見学			8		
4. 飲食店店主のお話			2		
5. 保健所(営業許可について)			2		
6. 物販店店主のお話			2		
7. 一階ギャラリー採寸(他 cosa内検討)			2		
8. 飲食プラン(エスキス)			12		
9. 製図			6		
10. 模型			14		
11. 発表			4		
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		科目コード
授業科目名		授業形態	学科・コース		
外部空間デザイン		講義・演習	インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	鈴木 健吾
授業の目的・目標					
近年需要が増えてきているエクステリア業界へ就職先を考慮する際に、有利になるような基本的な知識を身につける。就職後の実務に対応できる。2級エクステリアプランナーの取得希望者にプラスになる。					
授業の概要					
エクステリアプランの作成、製図、パース、プレゼンボード、模型の作成、制作。					
成績評価の方法					
学習意欲50% 課題作品評価50%				平常点	100%
				学習意欲	50%
				課題評価	50%
使用テキスト・教材					
プレゼンボード及び模型製作の為の材料を自分で用意する。					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	エクステリアプランの計画	2	16.プレゼンボード作成		2
2.	エクステリアプランの計画	2	17. 模型制作		2
3.	図面作成 平面、立面	2	18. 模型制作		2
4.	図面作成 平面、立面	2	19. 模型制作		2
5.	図面作成 平面、立面	2	20. 模型制作		2
6.	図面作成 平面、立面	2	21. 模型制作		2
7.	図面作成 平面、立面	2	22. 模型制作		2
8.	図面作成 平面、立面	2	23. 模型制作		2
9.	パース作成	2	24. 模型制作		2
10.	パース作成	2	25. 模型制作		2
11.	パース作成	2	26. 模型制作		2
12.	パース作成	2	27. 模型制作		2
13.	プレゼンボード作成	2	28. 模型制作		2
14.	プレゼンボード作成	2	29. プレゼンテーション		2
15.	プレゼンボード作成	2	30. プレゼンテーション		2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
卒業研究/卒業研究 I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	90	3	小沼 勝也	
授業の目的・目標						
<p>①2年間学んできたことの集大成であり、実社会へ踏み出す上での大きな実績をつくるための最も重要な授業である。それは自分自身の内面のことでもあるが、外部の人や企業からの評価を受ける場でもある。</p> <p>②予め素材の知識、加工の知識及び実践を経験することにより卒業研究をより幅が広くより深いものにして行く。</p> <p>③3年間の集大成である卒業制作展に向けて、展示ブースの計画。卒業制作展の搬入から設営、搬出までの一連の流れをスムーズに行えるような計画。④自分の作品をより綺麗に撮影する技術を学び、卒業制作展に活用するパネル及び写真集に使用する</p>						
授業の概要						
<p>テーマ探し(調査・研究・資料収集)から始まり作品の制作・プレゼンテーションまでの一連の作業を長い時間をかけて完成させる。様々な素材でその素材の特徴をいかしたものを制作。作品展示のための展示計画、必要に応じ展示材料、備品の製作。</p>						
成績評価の方法						
授業に取り組む姿勢、作品の評価、プレゼン力の評価。					学習態度	50%
					作品評価	50%
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 計画、プランゾーニング			12			
2. プランチェック			4			
3. 配置及び平面図			10			
4. 展開図			8			
5. 立面図・断面図・詳細図等			12			
6. 図面チェック			4			
7. パース			8			
8. 模型制作			20			
9. 最終審査			2			
10. 最終プレゼンテーション			2			
11. 作品ブラッシュアップ			8			
その他			関連科目			

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態	学科・コース		
卒業研究/卒業研究Ⅱ		講義・演習	インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	90	3	小杉 陽子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学んだことをもとにした挑戦の課題とする。</li> <li>・各自が興味のあるテーマを見つけ、調査により導き出された結果に自分の発想をプラスした作品を制作する。</li> <li>・提出期限を厳守するための自身のスケジュール管理を身につける。</li> </ul>					
授業の概要					
3年間の集大成となるため、今まで学んだことを自分の興味や関心に結びつけ、新たな視点を盛り込んだ作品となるものを目指す。					
成績評価の方法					
1. 出席状況 業態度(意欲的か、課題完成までのスケジューリングができているか)		2. 授	作品評価	70%	
3. 課題の完成度(アイデア・想像力、コンセプト・着目点、製図の出来栄)の上、課題を締切厳守で提出した上で総合的に評価する。課題未提出は成績評価は行わない。			授業態度	20%	
			出席状況	10%	
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の条件を読み解き、条件に合った中で自分のアイデアを具現化し、他者に考えを伝える方法を学ぶ。また、完成までの過程を自身で管理し、提出期限を厳守する。</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
1～12 <u>・テーマ、コンセプトの決定</u> 制作内容が決まっている学生にはより内容の充実を図り、細かな部分も目が行き届いているかを確認する。 具体的に決まっていない学生には、まずは、身近なことの中で思う疑問や提案を挙げて、その中からテーマとして膨らましていける材料を探す。		時間数 12	的な建物のプランもおおまかに考えていく。 また、敷地周辺の調査、参考資料の収集を行う。		時間数
13～24 <u>・具体的な内容へ発展させる</u> 各自制作したい作品のテーマをいくつか出し合い、なぜそれをやるのかの根本的な部分を含め、作品のコンセプトの内容をより深く詰めていく。その探究の際に、具体		12	25 <u>・製図</u> ～48 参考写真、資料等を調査・探索し作図する。	24	
			49 <u>・模型制作</u> ～90 図面を元に、模型作りを行う。	42	
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2026年度			
			科目コード				
授業科目名			授業形態		学科・コース		
卒業研究/卒業研究Ⅲ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	90	3	小泉 秀一郎		
授業の目的・目標							
<p>①2年間学んできたことの集大成であり、実社会へ踏み出す上での大きな実績をつくるための最も重要な授業である。それは自分自身の内面のことでもあるが、外部の人や企業からの評価を受ける場でもある。</p> <p>②予め素材の知識、加工の知識及び実践を経験することにより卒業研究をより幅が広くより深いものにして行く。</p> <p>③3年間の集大成である卒業制作展に向けて、展示ブースの計画。卒業制作展の搬入から設営、搬出までの一連の流れをスムーズに行えるような計画。</p> <p>④自分の作品をより綺麗に撮影する技術を学び、卒業制作展に活用するパネル及び写真集に使用する。</p>							
授業の概要							
<p>テーマ探し(調査・研究・資料収集)から始まり作品の制作・プレゼンテーションまでの一連の作業を長い時間をかけて完成させる。様々な素材でその素材の特徴をいかしたものを制作。</p> <p>作品展示のための展示計画、必要に応じ展示材料、備品の製作。</p>							
成績評価の方法							
授業に取り組む姿勢、作品の評価、プレゼン力の評価。					学習態度	50%	
					作品評価	50%	
使用テキスト・教材							
必要に応じてプリント配布							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	4月	リサーチ	2	16.	10月	図面+模型	2
2.	4月	リサーチ	2	17.	10月	図面+模型	2
3.	5月	リサーチ	2	18.	11月	図面+模型	2
4.	5月	スタディ	2	19.	11月	プレゼンパネル作成	2
5.	6月	スタディ	2	20.	12月	最終プレゼン	1
6.	6月	スタディ	2				
7.	7月	中間発表資料作成	2				
8.	7月	中間発表	2				
9.	8月	後半戦準備	2				
10.	9月	図面+模型	2				
11.	9月	図面+模型	2				
12.	9月	図面+模型	2				
13.	9月	図面+模型	2				
14.	10月	図面+模型	2				
15.	10月	図面+模型	2				
その他			関連科目				

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名			授業形態		学科・コース	
卒業研究/プレゼンテーション			講義・ <b>演習</b>		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	20		川松 夕見子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の様々なシーンや仕事で活用できるプレゼンスキルとその考え方を理解する。</li> <li>・ 卒業制作の企画や作品を、相手にわかりやすく効果的にプレゼンできるようにする。</li> <li>・ コンセプトを明確にし、相手が共感/納得できるストーリーに組み立て、それをスライドやファイルなどの形に落とし込んで表現する力を身につける。</li> </ul>						
授業の概要						
<p>聞く人にわかりやすく、作品の狙いや魅力を効果的に伝えられるプレゼンテーションを目指して、準備段階での情報整理・シナリオ構成、実施段階での表現・伝達・質疑応答まで、プレゼンの様々な要素を実践しながら学ぶ。</p> <p>また、卒業制作の集大成をポートフォリオとしてまとめる。</p>						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題提出（ワークシート、卒業制作ポートフォリオ）</li> <li>・ 卒業制作最終プレゼンテーション</li> </ul>					課題	60%
					平常点	20%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドデータまたはプリント配布</li> </ul>						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 授業概要説明、卒業制作コンセプトと作品内容の整理						4
2. 卒業制作最終プレゼンのシナリオ構成						4
3. 卒業制作最終プレゼンのスライド作成						4
4. 卒業制作ポートフォリオの全体構成と情報整理						4
5. 卒業制作ポートフォリオまとめ、卒業制作展に向けた来場者対応						4
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			マーケティングⅡ			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
卒業研究/模型製作			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	30	1	岩崎 京子	
授業の目的・目標						
卒業制作の模型製作作業を行う。 表現したい作品の計画に対して、適切な材料選択や作り方を学び、クオリティアップを狙う。						
授業の概要						
卒業制作の模型製作作業が主な作業割合を占める。 期限を意識し、計画的な工程で作業が進める。						
成績評価の方法						
卒業制作模型作品 ・ 模型完成の精度 ・ 作品としての表現力					課題	60%
					平常点	20%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
・ スライドデータまたはプリント配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 授業概要、過去作品を参考に縮尺の検討						4
2. 材料の積算、材料購入						4
3. 材料の積算、材料購入						4
4. 模型製作						4
5. 模型製作						4
6. 模型製作						4
7. 模型製作						4
8. 模型製作						4
9. 模型製作						4
10. 模型製作						4
11. 模型製作						4
12. 模型製作						4
13. 模型製作						4
14. 模型製作						4
15. 模型製作						4
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。				卒業制作		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名			授業形態		学科・コース	
卒業研究/グラフィックデザイン			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	20	1	本野 智美	
授業の目的・目標						
作品の完成後、企画ストーリーやデザインプロセス、コンセプトや建築及びインテリア概要を伝えるためのコミュニケーションの取れるグラフィックボードを制作し、卒業制作展において来場者への作品説明に説得力を持たせる。						
授業の概要						
卒業制作作品を分析・研究し、どう見せるか、どう伝えるかを考え、作品に最適なグラフィックを制作する。						
成績評価の方法						
1. 学習意欲／取り組みの姿勢と真剣度					学習意欲	40%
2. 理解度／制作目的の理解					理解度	20%
3. 課題提出／提出期限の厳守とデザインクオリティを評価対象とする					完成ボード	40%
使用テキスト・教材						
特になし						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 作品分析～研究						2
2. デザインプロセスの洗い出し						2
3. 展示計画と連動させたグラフィック計画						4
4.						
5.						
6. ボード制作～随時チェック						8
7.						
8.						
9. 原寸チェック～ブラッシュアップ						4
10.						
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。				卒業制作		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業研究/展示計画		講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	岩崎 京子
授業の目的・目標					
3年間の集大成である卒業制作展に向けて、展示ブースの計画。卒業制作展の搬入から設営、搬出までの一連の流れをスムーズに行えるような計画。自分の作品をより綺麗に撮影する技術を学び、卒業制作展に活用するパネル及び写真集に使用する写真を撮影する。□					
授業の概要					
作品展示のための展示計画、必要に応じ展示材料、備品の製作。 作品写真撮影。作品パネルの作成。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢、作品の評価、プレゼン力の評価。				学習態度	50%
				作品	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 展示会場の見学、計測、設備・備品確認					2
2. 展示ブースの計画					4
3. 展示ブースの備品製作					4
4. 展示会場の照明計画					2
5. 展示会場の備品計画					2
6. 搬入・設営計画					8
7. 搬入・設営計画					8
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態	学科・コース		
産学連携プロジェクトⅢ		講義・演習	インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	宮沢 千夏子
<b>授業の目的・目標</b>					
静岡市リハビリテーションセンター推進センターが運営する福祉用具展示場レイアウト変更事業を題材に、展示空間・ディスプレイ提案を行うとともに、行政・福祉施設の目的を理解し、利用者の立場に立った、空間課題として整理でき、福祉用具展示における「分かりやすさ」「利用しやすさ」を考慮したレイアウト計画やサイン計画ができる。					
<b>授業の概要</b>					
静岡市リハビリテーションセンター推進センターが運営する福祉用具展示場レイアウト変更事業を題材に、実在施設・実条件（予算・什器・目的）を踏まえた展示空間・ディスプレイ提案を行い、最終プレゼンテーションを行う。					
<b>成績評価の方法</b>					
1, 課題：最終プレゼン、最終成果物の完成度、中間プレゼン 2, 学習意欲：個人の取り組み、ワークシートの提出 3, 平常点：授業参加率				課題	50%
				学習意欲	30%
				平常点	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
・スライドデータまたはプリント配布					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	現地見学	2	16.	サイン計画	2
2.	現地見学	2	17.	中間まとめ	2
3.	見学内容の整理・共有	2	18.	中間まとめ	2
4.	見学内容の整理・共有	2	19.	中間プレゼン（7月）①	2
5.	事例研究・フィールドワーク	2	20.	中間プレゼン（7月）②	2
6.	事例研究・フィールドワーク	2	21.	フィードバック・修正	2
7.	事例研究・振り返り	2	22.	フィードバック・修正	2
8.	事例研究・振り返り	2	23.	制作	2
9.	実際の施設へ落とし込み	2	24.	制作	2
10.	実際の施設へ落とし込み	2	25.	制作	2
11.	ペルソナ設定	2	26.	制作	2
12.	コンセプトメイキング	2	27.	最終調整・リハーサル①	2
13.	展示構成案①	2	28.	最終調整・リハーサル②	2
14.	展示構成案②・チェック	2	29.	最終プレゼン（9月）①	2
15.	全体レイアウト案	2	30.	最終プレゼン（9月）・講評②	2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					